

がん撲滅を願い 多彩な催し開く

旧広島市民球場

がんと向き合う24時間のチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ」(日本対がん協会、リレー・フォー・ライフ広島実行委員会主催、朝日新聞広島総局など後援)が22日午後1時、広島市中区の旧広島市民球場で始まった。約50団体がグラウンドを周回する「命のリレー」写真



ど、がんの撲滅を願う多彩な催しが繰り広げられている。県内外からがん経験者や医

療・福祉関係者ら約1700人が参加。命のリレーでは、参加者は「病気になるっても負けない」「1日1日を大切に生きていこう」などの思いをこめ、歩き続けた。

4年前に乳がん、2年前に肺がんが見つかり、治療中の仲西実穂さん(44)は「広島市佐伯区」は「同じような経験を持つ人と一緒だと、安心して楽しめます」と話していた。講演やコンサートなどもある。閉会式は23日正午から。

(辻外記子)